

飯島賢二の『恐縮ですが…一言コラム』

第 245 回 短編詩「犬の十戒」

2008. 3. 2

「犬の十戒」という短編詩、ご存知だろうか？インターネットで広まった作者不明の短編詩。犬の気持ちから書かれた飼い主への 10 のお願いは、その内容が深い共感と感動を呼び、世界中の犬を愛する人から支持されている。原文は英語だが、サイトによって多少訳が違っている。「犬の十戒」を紹介するサイトは、全世界で 100 万を超えと言われる、今や愛犬家で知らない人はいないとまで言われている。

この「犬の十戒」を基に書かれた原作『犬と私の 10 の約束』（川口晴著・文藝春秋）が映画化された。3月15日、全国ロードショー！とは、うまく宣伝に乗せられたかもしれないが、我が家の愛犬、おばあちゃん「チロ」（アプリコットトイプードルで、なんと13歳）を見るにつけ、居ても立ってもいられない、そんな思いで、今から映画を楽しみにしている。

ご存知の方、沢山いるかもしれないが、今回はこの「犬の十戒」を是非紹介したい。

一度でも犬を飼ったことがある人はもちろん、犬との暮らしに憧れている人なら、ささやかで切ない犬の願いに、涙せずにいられない。人と人は、時として誤解があり、不信があり、虚偽や隠蔽や、他の動物が誰もしない、醜い言動をとることがある。でも、ここにいる小さな犬は、疑うことが出来ない、騙すことも知らない、ひたすら一途の「至上の愛」、そんな犬の気持ちを、10の約束で見事に語っている…、以下、犬の願いである。

犬と私の 10 の約束

1. 私と気長につきあってください。
2. 私を信じてください。それだけで私は幸せです。
3. 私にも心があることを忘れないでください。
4. 言うことを聞かないときは、理由があります。
5. 私にたくさん話しかけてください。
人の言葉は話せないけど、わかっています。
6. 私をたたかないで、本気になったら私のほうが強いことを忘れないでください。
7. 私が年を取っても、仲良くしてください。
8. あなたには学校もあるし友達もいます。
でも、私にはあなたしかいません。
9. 私は10年くらいしか生きられません。
だから、できるだけ私と一緒にいてください。
10. 私が死ぬとき、お願いします。そばにいてください。
そして、どうか覚えていてください。
私はずっとあなたを愛していたことを。